



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トランスジェニック

コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 船橋 泰

TEL 096-375-7660

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	230	△9.5	△125	—	△123	—	△151	—
24年3月期第2四半期	255	26.7	△87	—	△84	—	△87	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △152百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △87百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1,168.31	—
24年3月期第2四半期	△676.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,267	94.0	2,144	94.0	2,144	94.0
24年3月期	2,502	91.3	2,297	91.3	2,297	91.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,131百万円 24年3月期 2,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	750	23.4	△30	—	△25	—	△55	—	△424.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	129,578 株	24年3月期	129,578 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	14 株	24年3月期	14 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	129,564 株	24年3月期2Q	129,562 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高230,876千円（前年同期255,052千円）、営業損失125,738千円（前年同期87,398千円）、経常損失123,586千円（前年同期84,727千円）、四半期純損失151,371千円（前年同期87,635千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ジェノミクス事業

当事業における当第2四半期連結累計期間の受注高については新実験棟の稼働及び生産体制強化を受け前年同期比63.8%増と順調に増加しておりますが、下期以降の売上計上となるため、売上高は98,595千円（前年同期96,596千円）にとどまりました。また、新実験棟の稼働による各種経費増加により営業損失は15,687千円（前年同期は営業利益9,686千円）となりました。なお、当事業の一部の設備及びのれんにつきまして、当第2四半期連結会計期間において19,634千円の減損損失を計上しております。

② CRO事業

CRO市場におきましては、製薬企業のパイプラインの絞込みと委託費用の圧縮により受託獲得競争激化が続いており、当事業における当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同期比50.4%増となったものの、売上高は42,220千円（前年同期49,235千円）にとどまりました。また、新実験棟の稼働による各種経費増加により営業損失は29,181千円（前年同期12,082千円）となりました。

③ 抗体試薬事業

公的研究費予算執行の遅れから、大学・公的機関では予算執行に慎重さが見られ、抗体製品販売が減少したことから、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は90,060千円（前年同期109,220千円）、営業利益は13,053千円（前年同期17,818千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末は、流動資産1,439,630千円（前連結会計年度末比224,237千円減少）、固定資産828,312千円（同10,201千円減少）、流動負債83,904千円（同100,416千円減少）、固定負債39,104千円（同18,365千円増加）、純資産合計2,144,934千円（同152,387千円減少）となり、総資産は2,267,943千円（同234,438千円減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△62,003千円（前年同期△116,626千円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失143,221千円（前年同期84,727千円）に減損損失19,634千円、売上債権の減少額61,956千円（前年同期59,440千円）を調整したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出87,557千円（前年同期185,366千円）等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△94,373千円（前年同期△684,725千円）となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ156,376千円減少し、1,242,160千円（前年同期1,191,842千円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における受託獲得については前年同期と比較し順調に推移しておりますが、製薬企業の委託費用の圧縮や公的研究費予算執行の遅れから当初計画を下回る水準で推移しております。当社は営業活動強化の徹底及び各種経費の更なる削減を実施しておりますが、この厳しい環境は当面継続することが想定され、また、ジェノミクス事業の一部の設備及びのれんについて減損損失を計上したことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益について前回予想値を下回る見込みとなり、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年11月8日）公表いたしました、「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間におきましても、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象を解消するため、主力事業のさらなる生産効率化や新サービスによる収益増加により黒字化を目指します。資金につきましても、当第2四半期末時点での「現金及び預金」と「有価証券」の合計額は1,242,160千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	398,536	342,160
受取手形及び売掛金	192,859	130,902
有価証券	1,000,000	900,000
商品及び製品	19,016	16,258
仕掛品	5,999	23,762
原材料及び貯蔵品	10,397	6,889
その他	37,563	20,056
貸倒引当金	△506	△400
流動資産合計	1,663,867	1,439,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	452,145	832,168
減価償却累計額	△159,120	△167,357
建物及び構築物(純額)	293,025	664,811
建設仮勘定	366,250	—
その他	339,172	334,154
減価償却累計額	△252,719	△242,280
その他(純額)	86,452	91,874
有形固定資産合計	745,729	756,686
無形固定資産		
のれん	12,100	—
その他	683	583
無形固定資産合計	12,783	583
投資その他の資産	80,001	71,043
固定資産合計	838,514	828,312
資産合計	2,502,381	2,267,943
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,643	10,861
未払金	139,159	30,559
未払法人税等	11,838	9,010
賞与引当金	6,131	3,365
受注損失引当金	466	4,396
その他	24,081	25,711
流動負債合計	184,321	83,904
固定負債		
資産除去債務	16,126	30,310
その他	4,612	8,794
固定負債合計	20,739	39,104
負債合計	205,060	123,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,404,263	5,404,263
資本剰余金	546,743	546,743
利益剰余金	△3,668,350	△3,819,721
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,280,874	2,129,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,601	2,080
その他の包括利益累計額合計	3,601	2,080
新株予約権	8,312	8,312
少数株主持分	4,533	5,038
純資産合計	2,297,321	2,144,934
負債純資産合計	2,502,381	2,267,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	255,052	230,876
売上原価	161,681	183,803
売上総利益	93,370	47,072
販売費及び一般管理費	180,769	172,811
営業損失(△)	△87,398	△125,738
営業外収益		
受取利息	2,091	1,422
その他	703	1,295
営業外収益合計	2,794	2,718
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	372
持分法による投資損失	123	193
営業外費用合計	123	566
経常損失(△)	△84,727	△123,586
特別損失		
減損損失	—	19,634
特別損失合計	—	19,634
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,727	△143,221
法人税、住民税及び事業税	2,626	2,857
法人税等調整額	△73	4,787
法人税等合計	2,553	7,644
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,281	△150,866
少数株主利益	354	504
四半期純損失(△)	△87,635	△151,371

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,281	△150,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	△1,520
その他の包括利益合計	△127	△1,520
四半期包括利益	△87,408	△152,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,762	△152,892
少数株主に係る四半期包括利益	354	504

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,727	△143,221
減価償却費	9,512	19,838
減損損失	—	19,634
のれん償却額	—	615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△106
受取利息及び受取配当金	△2,140	△1,472
持分法による投資損益(△は益)	123	193
売上債権の増減額(△は増加)	59,440	61,956
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,829	△11,497
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,238	8,218
未払金の増減額(△は減少)	8,011	△34,979
長期前払費用の増減額(△は増加)	△29,539	4,787
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,805	15,126
その他の負債の増減額(△は減少)	△11,246	3,070
小計	△115,463	△57,835
利息及び配当金の受取額	2,206	1,476
法人税等の支払額	△3,369	△5,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△116,626	△62,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,200,000	△400,000
有価証券の償還による収入	700,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△185,366	△87,557
事業譲受による支出	—	△7,500
貸付金の回収による収入	557	569
その他	83	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△684,725	△94,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	68	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	68	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△801,283	△156,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,993,125	1,398,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,191,842	1,242,160

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	抗体試薬事業			
売上高						
外部顧客への売上高	96,596	49,235	109,220	255,052	—	255,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	96,596	49,235	109,220	255,052	—	255,052
セグメント利益又は損失 (△)	9,686	△12,082	17,818	15,422	△102,821	△87,398

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	抗体試薬事業			
売上高						
外部顧客への売上高	98,595	42,220	90,060	230,876	—	230,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	98,595	42,220	90,060	230,876	—	230,876
セグメント利益又は損失 (△)	△15,687	△29,181	13,053	△31,815	△93,922	△125,738

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「遺伝子破壊マウス事業」、「抗体事業」及び「試薬販売事業」の3区分から、「ジェノミクス事業」、「CRO事業」及び「抗体試薬事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジェノミクス事業」セグメントの一部の設備及びのれんについて減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は19,634千円であります。